



新年明けましておめでとうございます 2024年・令和6年 辰年

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、本校教育のためにご理解とご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も、堅田小学校の教育目標である「**かたた**の子」(か**ん**がえる子ども・た**く**ましい子ども・た**か**めあう子ども)を目指し、育むため、教職員一同、力を合わせて取り組んで参ります。本年も変わらぬご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

自然災害や事故という大きな出来事が数日の間に起こった新年のスタートとなりましたが、皆様方におかれましてはご無事に新年を迎えられましたことを願っているところです。

さて、2学期の終業式では、年越しそばや初夢、書き初めといったお正月ならではの話をしまして、どれも新しい年も元気に過ごせますように、よいことがありますようにという願いの込められたものですよという話を子どもたちにしました。新年のこの時はやはり清新な気持ちになります。初詣に行く方は、これから始まる一年を展望しながら、手を合わせて夢を描いたりするものです。夢を描く機会を、この新年や後の新学年になる際に、子どもたちにも大切にさせたいと思います。夢は目標であり、目標を実現させるためには努力が必要です。子どもたちが目標を実現させようと努力するエネルギーは、子どもの成長に好ましい影響を及ぼします。目標を立てた以上は実現してほしいところですが、実現できなかったとしても、どこまで到達できたのかを振り返ることにとっても教育的な意味があると思います。努力した自分を自覚することを通して、自分自身を価値ある存在であると思うこと(自尊感情や自己肯定感)につながるからです。成長期の子どもたちにとって成功体験も大切ですが、未達成であったり、失敗体験も現実にはもちろんあることです。しかしその過程での自分の努力を自分で認めることができることは自尊感情や自己肯定感につながる素晴らしいことだと思います。大人になる過程において、このような体験を積み重ねることが豊かな人生につながる重要なステップであると思います。

3学期はあつという間に過ぎていくとよく言われますが、学年のまとめをして振り返り、この学年になってできるようになったことやわかったことが増えたという達成感や満足感を持って、次の学年への期待にもつながる3学期にしていきたいと考えます。

3学期も引き続きご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

校長 山本 純子



【1月の主な行事予定】

- 1月 9日(火) 始業式 3校時日課 11:25下校
- 10日(水) 避難訓練 3校時日課 11:25下校
- 11日(木) 給食開始 5校時日課
- 12日(金) 5校時日課
- 15日(月) 通常日課 委員会活動 教育相談日(SC)
- 18日(木) 大特連作品展<~24日(水)>
- 22日(月) 校内書き初め展<~26日(金)> クラブ活動(最終)
- 24日(水) 6年堅田中学校招待授業⑥
- 25日(木) 仰木中児童向け入学説明会 PM
- 26日(金) 大津市家庭科作品展<~30日(火)> 3年福祉体験①②
- 29日(月) 5校時日課
- 30日(火) 教育相談日(SC)



※詳しい月予定については、各学年の学年通信をご覧ください。

※状況によって、予定を変更することもあります。ご承知おきください。

※子どもたちの活動の様子等を、本校のホームページの「校長室より(学校日記)」や「学年のページ」コーナーで随時紹介しています。是非ご覧ください。

創立150周年を記念して贈呈していただきました！！②

前号の学校だより「夕雁」NO. 12（12/21 発行）では、創立150周年記念事業実行委員会様となぎさ会様よりいただいた目録の内容を紹介させていただきましたが、今回はいただいたものの一部を写真で紹介します。

<左>琥珀地学校旗

<右>

長椅子（エクセル）低学年用

中・高学年用

折りたたみ椅子



【令和5年度 全国学力・学習状況調査分析結果】

我が校の強み弱み分析・評価シート

大津市立堅田小学校

○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【結果について】

《概要》

教科に関する調査では、昨年より正答率がのび、全国や県の状況により近づいたと言えます。全国的に課題とされる、国語の「資料を読み取って、問題点や改善点を書くこと」は本校でも課題となっています。算数においては、今年は図形を扱う問題の正答率が平均並みで全国平均より点数は高くなりました。児童質問紙調査では、昨年と同じように「学校に行くのが楽しい」、「いじめを許さない」、「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた割合が高くなっています。

今年度の調査では全国と比べても無答率（答えを書いていない答案）が大幅に減り、選択問題、記述問題ともに答えを最後までしっかりと書き、自分の考えを伝えることができていました。一方で算数の記述問題では無答率が高かったです。全体的には正答率も高く、基礎学力の向上が見て取れました。

《強み・弱み》

『国語』

文章をまとめ要約する問題では正答率が上がっています。無答率も低く、文章を読むこと、書くことへの抵抗が少なくなってきました。記述問題の内、1-2と2-4の問題は資料を読み取り、図や表を用いて自分の考えを書き表す問題でした。本校の子どもたちは、文章で書くこと以外の表現を読み取ったり書き表したりすることが難しかったようです。また、今年も漢字の書き取りの問題では3問とも全国や滋賀県に比べて正答率は低くなっています。「読み解く力」とともに「基礎的な漢字力」をつけていく必要があると考えています。

『算数』

基本的な計算力や知識を問う問題では正答率が高いです。特に割合や（ ）を用いた式の計算など、難しい計算を含んだ問題でも正答率が例年より高く、基礎学力が向上しています。記述式問題では正答率が低くなり、問題文に合う解答となっていないものも多く見られました。ただ、どの子どもも無答率は低く、どの問題にもしっかりと取り組んでいます。資料を正確に読み取り、問題を整理することが課題です。

※紙面の都合上、この続きの【指導の充実に向けて】は次号に掲載いたします。